

医療機関等との関係の透明性に関する指針

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパンは、「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針」（以下「本指針」）を弊社の指針として定めて、医療機関、医療関係者への資金提供における実績情報を公開いたします。

1. 指針策定にあたって

弊社は、本指針の策定にあたり、一般社団法人 日本医療機器産業連合会が策定した「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき策定いたしました。

2. 目的

弊社と医療機関・医療関係者等との関係の透明性及び信頼性を確保することにより、弊社の事業活動が医学・薬学・医療工学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していること、および企業活動は高い倫理性を担保した上で行われていることについて、広く理解を得ることを目的としています。

3. 公開方法

2021 年度から資金提供実績を当該年度の決算終了後適切な時期に公開いたします。公開は弊社が入会している団体である一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会の上部組織である一般社団法人 医療機器産業連合会のウェブサイトにて公開してもらうことといたしました。

4. 公開時期

決算終了後の適切な時期に、前年度の実績を公開します。

5. 公開対象

A. 研究費開発費等

臨床研究法、医薬品医療機器等法におけるGCP/GVP/GPSP省令等の公的規制や各種指針のもとで実施される研究・調査等に要した費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

（1） 特定臨床研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（2） 倫理指針に基づく研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（3） 臨床以外の研究費

（年間の件数・総額、提供先施設等の名称）

- (4) 臨床試験費（治験費）
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (5) 製造販売後臨床試験費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (6) 不具合・感染症症例報告費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (7) 製造販売後調査費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (8) その他研究開発関連費用
（年間の総額）

B. 学術研究助成費

学術振興や研究助成等を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催を支援するための学会等寄附金、学会等共催費が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 奨学寄附金
（〇〇大学〇〇教室：〇〇件〇〇円）
- (2) 一般寄附金
（〇〇大学（〇〇財団）：〇〇件〇〇円）
- (3) 学会等寄附金
（第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会）：〇〇円）
- (4) 学会等共催費
（第〇回〇〇学会〇〇セミナー：〇〇円）

C. 原稿執筆料等

弊社医療機器の適正使用等に関する情報提供のための講演、原稿執筆や監修、その他のコンサルティング等の業務委託の対価として支払う費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 講師謝金
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）
- (2) 原稿執筆料・監修料
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）
- (3) コンサルティング等業務委託費
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）

D. 情報提供関連費

医療関係者に対する弊社の取り扱う医療機器の適正使用、安全使用の為に必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれる。

- (1) 講演会等会合費
(年間の件数・総額)
- (2) 説明会費
(年間の件数・総額)
- (3) 医学・医療工学関連文献等提供費
(年間の総額)

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用が含まれる。

- (1) 接遇等費用
(年間の総額)

問い合わせ窓口：

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパン

所属：薬事部

氏名：大坂 浩二

TEL：03-6302-0088

FAX：03-6302-0089

E-Mail：k-osaka@pbrehm.co.jp

医療機関等との関係の透明性に関する公開情報

公開期間：2024 年度（2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日）

株式会社ピーター・ブレード・ジャパン

A：研究開発費等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
特定臨床研究費	0		0
倫理指針に基づく研究費	0		0
臨床以外の研究費	0		0
臨床試験費（治験費）	0		0
製造販売後臨床試験費	0		0
不具合・感染症症例報告費	0		0
製造販売後調査費	0		0
その他研究開発関連費用	0		0

B：学術研究助成費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
奨学寄附金	0		0
一般寄附金	0		0
学会等寄附金	0		0
学会等共催費	0		0

C：原稿執筆料等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講師謝礼金	0		0
原稿執筆料・監修料	0		0
コンサルティング等業務委託費	0		0

D：情報提供関連費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講演会等会合費	0		0
説明会費	0		0
医学・医療工学関連文献等提供費	0		0

E：その他費用

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
接遇等費用	0		0

以上

医療機関等との関係の透明性に関する指針

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパンは、「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針」（以下「本指針」）を弊社の指針として定めて、医療機関、医療関係者への資金提供における実績情報を公開いたします。

1. 指針策定にあたって

弊社は、本指針の策定にあたり、一般社団法人 日本医療機器産業連合会が策定した「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき策定いたしました。

2. 目的

弊社と医療機関・医療関係者等との関係の透明性及び信頼性を確保することにより、弊社の事業活動が医学・薬学・医療工学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していること、および企業活動は高い倫理性を担保した上で行われていることについて、広く理解を得ることを目的としています。

3. 公開方法

2021 年度から資金提供実績を当該年度の決算終了後適切な時期に公開いたします。公開は弊社が入会している団体である一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会の上部組織である一般社団法人 医療機器産業連合会のウェブサイトにて公開してもらうことといたしました。

4. 公開時期

決算終了後の適切な時期に、前年度の実績を公開します。

5. 公開対象

A. 研究費開発費等

臨床研究法、医薬品医療機器等法におけるGCP/GVP/GPSP省令等の公的規制や各種指針のもとで実施される研究・調査等に要した費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

（1） 特定臨床研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（2） 倫理指針に基づく研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（3） 臨床以外の研究費

（年間の件数・総額、提供先施設等の名称）

- (4) 臨床試験費（治験費）
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (5) 製造販売後臨床試験費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (6) 不具合・感染症症例報告費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (7) 製造販売後調査費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (8) その他研究開発関連費用
（年間の総額）

B. 学術研究助成費

学術振興や研究助成等を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催を支援するための学会等寄附金、学会等共催費が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 奨学寄附金
（〇〇大学〇〇教室：〇〇件〇〇円）
- (2) 一般寄附金
（〇〇大学（〇〇財団）：〇〇件〇〇円）
- (3) 学会等寄附金
（第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会）：〇〇円）
- (4) 学会等共催費
（第〇回〇〇学会〇〇セミナー：〇〇円）

C. 原稿執筆料等

弊社医療機器の適正使用等に関する情報提供のための講演、原稿執筆や監修、その他のコンサルティング等の業務委託の対価として支払う費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 講師謝金
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）
- (2) 原稿執筆料・監修料
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）
- (3) コンサルティング等業務委託費
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）

D. 情報提供関連費

医療関係者に対する弊社の取り扱う医療機器の適正使用、安全使用の為に必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれる。

- (1) 講演会等会合費
(年間の件数・総額)
- (2) 説明会費
(年間の件数・総額)
- (3) 医学・医療工学関連文献等提供費
(年間の総額)

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用が含まれる。

- (1) 接遇等費用
(年間の総額)

問い合わせ窓口：

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパン

所属：薬事部

氏名：大坂 浩二

TEL：03-6302-0088

FAX：03-6302-0089

E-Mail：k-osaka@pbrehm.co.jp

医療機関等との関係の透明性に関する公開情報

公開期間：2024 年度（2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日）

株式会社ピーター・ブレード・ジャパン

A：研究開発費等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
特定臨床研究費	0		0
倫理指針に基づく研究費	0		0
臨床以外の研究費	0		0
臨床試験費（治験費）	0		0
製造販売後臨床試験費	0		0
不具合・感染症症例報告費	0		0
製造販売後調査費	0		0
その他研究開発関連費用	0		0

B：学術研究助成費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
奨学寄附金	0		0
一般寄附金	0		0
学会等寄附金	0		0
学会等共催費	0		0

C：原稿執筆料等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講師謝礼金	0		0
原稿執筆料・監修料	0		0
コンサルティング等業務委託費	0		0

D：情報提供関連費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講演会等会合費	0		0
説明会費	0		0
医学・医療工学関連文献等提供費	0		0

E：その他費用

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
接遇等費用	0		0

以上

医療機関等との関係の透明性に関する指針

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパンは、「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針」（以下「本指針」）を弊社の指針として定めて、医療機関、医療関係者への資金提供における実績情報を公開いたします。

1. 指針策定にあたって

弊社は、本指針の策定にあたり、一般社団法人 日本医療機器産業連合会が策定した「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき策定いたしました。

2. 目的

弊社と医療機関・医療関係者等との関係の透明性及び信頼性を確保することにより、弊社の事業活動が医学・薬学・医療工学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していること、および企業活動は高い倫理性を担保した上で行われていることについて、広く理解を得ることを目的としています。

3. 公開方法

2021 年度から資金提供実績を当該年度の決算終了後適切な時期に公開いたします。公開は弊社が入会している団体である一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会の上部組織である一般社団法人 医療機器産業連合会のウェブサイトにて公開してもらうことといたしました。

4. 公開時期

決算終了後の適切な時期に、前年度の実績を公開します。。

5. 公開対象

A. 研究費開発費等

臨床研究法、医薬品医療機器等法におけるGCP/GVP/GPSP省令等の公的規制や各種指針のもとで実施される研究・調査等に要した費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

（1） 特定臨床研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（2） 倫理指針に基づく研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（3） 臨床以外の研究費

（年間の件数・総額、提供先施設等の名称）

- (4) 臨床試験費（治験費）
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (5) 製造販売後臨床試験費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (6) 不具合・感染症症例報告費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (7) 製造販売後調査費
（提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円）
- (8) その他研究開発関連費用
（年間の総額）

B. 学術研究助成費

学術振興や研究助成等を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催を支援するための学会等寄附金、学会等共催費が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 奨学寄附金
（〇〇大学〇〇教室：〇〇件〇〇円）
- (2) 一般寄附金
（〇〇大学（〇〇財団）：〇〇件〇〇円）
- (3) 学会等寄附金
（第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会）：〇〇円）
- (4) 学会等共催費
（第〇回〇〇学会〇〇セミナー：〇〇円）

C. 原稿執筆料等

弊社医療機器の適正使用等に関する情報提供のための講演、原稿執筆や監修、その他のコンサルティング等の業務委託の対価として支払う費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 講師謝金
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）
- (2) 原稿執筆料・監修料
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）
- (3) コンサルティング等業務委託費
（〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円）

D. 情報提供関連費

医療関係者に対する弊社の取り扱う医療機器の適正使用、安全使用の為に必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれる。

- (1) 講演会等会合費
(年間の件数・総額)
- (2) 説明会費
(年間の件数・総額)
- (3) 医学・医療工学関連文献等提供費
(年間の総額)

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用が含まれる。

- (1) 接遇等費用
(年間の総額)

問い合わせ窓口：

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパン

所属：薬事部

氏名：大坂 浩二

TEL：03-6302-0088

FAX：03-6302-0089

E-Mail：k-osaka@pbrehm.co.jp

医療機関等との関係の透明性に関する公開情報

公開期間：2023 年度（2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日）

株式会社ピーター・ブレード・ジャパン

A：研究開発費等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
特定臨床研究費	0		0
倫理指針に基づく研究費	0		0
臨床以外の研究費	0		0
臨床試験費（治験費）	0		0
製造販売後臨床試験費	0		0
不具合・感染症症例報告費	0		0
製造販売後調査費	0		0
その他研究開発関連費用	0		0

B：学術研究助成費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
奨学寄附金	0		0
一般寄附金	0		0
学会等寄附金	0		0
学会等共催費	1	学会名：第 29 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会	440, 000

C：原稿執筆料等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講師謝礼金	0		0
原稿執筆料・監修料	0		0
コンサルティング等業務委託費	0		0

D：情報提供関連費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講演会等会合費	0		0
説明会費	0		0
医学・医療工学関連文献等提供費	0		0

E：その他費用

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
接遇等費用	0		0

以上

医療機関等との関係の透明性に関する指針

2022 年 11 月 2 日制定

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパン

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパンは、「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針」（以下「本指針」）を弊社の指針として定めて、医療機関、医療関係者への資金提供における実績情報を公開いたします。

1. 指針策定にあたって

弊社は、本指針の策定にあたり、一般社団法人 日本医療機器産業連合会が策定した「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき策定いたしました。

2. 目的

弊社と医療機関・医療関係者等との関係の透明性及び信頼性を確保することにより、弊社の事業活動が医学・薬学・医療工学をはじめとするライフサイエンスの発展に寄与していること、および企業活動は高い倫理性を担保した上で行われていることについて、広く理解を得ることを目的としています。

3. 公開方法

2021 年度から資金提供実績を当該年度の決算終了後適切な時期に公開いたします。公開は弊社が加入している団体である一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会の上部組織である一般社団法人 医療機器産業連合会のウェブサイトにて公開してもらうことといたしました。

4. 公開時期

決算終了後の適切な時期に、前年度の実績を公開します。。

5. 公開対象

A. 研究費開発費等

臨床研究法、医薬品医療機器等法におけるGCP/GVP/GPSP省令等の公的規制や各種指針のもとで実施される研究・調査等に要した費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

（１） 特定臨床研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

（２） 倫理指針に基づく研究費

（提供先施設等の名称等：〇〇件〇〇円）

- (3) 臨床以外の研究費
(年間の件数・総額、提供先施設等の名称)
- (4) 臨床試験費（治験費）
(提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円)
- (5) 製造販売後臨床試験費
(提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円)
- (6) 不具合・感染症症例報告費
(提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円)
- (7) 製造販売後調査費
(提供先施設等の名称：〇〇件〇〇円)
- (8) その他研究開発関連費用
(年間の総額)

B. 学術研究助成費

学術振興や研究助成等を目的として行われる奨学寄附金、一般寄附金、および学会等の会合開催を支援するための学会等寄附金、学会等共催費が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 奨学寄附金
(〇〇大学〇〇教室：〇〇件〇〇円)
- (2) 一般寄附金
(〇〇大学（〇〇財団）：〇〇件〇〇円)
- (3) 学会等寄附金
(第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会）：〇〇円)
- (4) 学会等共催費
(第〇回〇〇学会〇〇セミナー：〇〇円)

C. 原稿執筆料等

弊社医療機器の適正使用等に関する情報提供のための講演、原稿執筆や監修、その他のコンサルティング等の業務委託の対価として支払う費用が含まれる。

提供した資金等は、各項目の年間総額とともに以下のとおり公開する。

- (1) 講師謝金
(〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円)
- (2) 原稿執筆料・監修料
(〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円)
- (3) コンサルティング等業務委託費
(〇〇大学（〇〇病院）〇〇科〇〇教授（部長）：〇〇件〇〇円)

D. 情報提供関連費

医療関係者に対する弊社の取り扱う医療機器の適正使用、安全使用の為に必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれる。

- (1) 講演会等会合費
(年間の件数・総額)
- (2) 説明会費
(年間の件数・総額)
- (3) 医学・医療工学関連文献等提供費
(年間の総額)

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用が含まれる。

- (1) 接遇等費用
(年間の総額)

問い合わせ窓口：

株式会社ピーター・ブレイム・ジャパン

所属：薬事部

氏名：大坂 浩二

TEL：03-6302-0088

FAX：03-6302-0089

E-Mail：k-osaka@pbrehm.co.jp

医療機関等との関係の透明性に関する公開情報

公開期間：2021 年度（2021 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日）

株式会社ピーター・ブレード・ジャパン

A：研究開発費等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
特定臨床研究費	0		0
倫理指針に基づく研究費	0		0
臨床以外の研究費	0		0
臨床試験費（治験費）	0		0
製造販売後臨床試験費	0		0
不具合・感染症症例報告費	0		0
製造販売後調査費	0		0
その他研究開発関連費用	0		0

B：学術研究助成費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
奨学寄附金	0		0
一般寄附金	0		0
学会等寄附金	0		0
学会等共催費	1	学会名：第 28 回脊椎脊髄神経手術手技学会	605, 000

C：原稿執筆料等

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講師謝礼金	0		0
原稿執筆料・監修料	0		0
コンサルティング等業務委託費	0		0

D：情報提供関連費

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
講演会等会合費	0		0
説明会費	0		0
医学・医療工学関連文献等提供費	0		0

E：その他費用

項目	年間件数	詳細	金額 (円 税込み)
接遇等費用	0		0

以上